

お子様がどんな使い方をしているかご存知ですか？

—平成28年度 青少年のインターネット利用環境実態調査 より—

内閣府が3月30日に発表した「平成28年度 青少年*のインターネット利用環境実態調査」の内容を簡単にまとめて、お伝えいたします。

*青少年…満10歳～満17歳

1) 青少年のインターネットの利用率は 80.2%

インターネット利用率は 80.2% (小学生：61.8%、中学生：82.2%、高校生：96.6%)

2) 一番インターネットを利用する機器はスマホ(47.2%)

インターネットの利用機器はスマートフォンが 47.2% でトップ、以下、携帯ゲーム機 (21.7%)、タブレット (20.9%)、ノートパソコン (17.3%) が上位となっています。

特にスマートフォン保有率は、小学生では H26 年の 17.1% から 27.0%、中学生では 41.9% から 51.7% とそれぞれ 10 ポイント近く増加しており、高校生になると 94.8% と、ほとんどの高校生が保有しています。



※インターネットに接続できる機器は身近にいろいろとあります。SNS (ソーシャル・ネットワークワーキング・システム) や掲示板、ゲームやアプリでの課金など、保護者の方々が気づいていない使い方をしていませんか？

3) インターネット利用時間は 1日約 2 時間半 (154.3 分)

1日の平均利用時間は 154.3 分 (小学生：93.4 分、中学生：138.3 分、高校生：207.3 分) で、年齢が上がるにつれて長時間になる傾向があります。特に 高校生 では 5 時間以上が 20.5%、また 高校生 におけるスマートフォンでのインターネット利用時間は、2 時間以上が 72.1% を占めます。

利用内容について特に高いものは、以下の通りになります。

(小学生) ゲーム…78.1%、動画視聴…60.5%

(中学生) 動画視聴…74.0%、ゲーム…72.8%、コミュニケーション…67.2%
(高校生) コミュニケーション…90.6%、動画視聴…84.1%、音楽視聴…82.8%

コミュニケーションは、小学生では32.5%ですが、中学生では67.2%と一気に増加、さらに高校生では90.6%に達します。



○保護者の取り組みについて

保護者の約8割(82.9%)が、青少年のスマートフォン利用に関する何らかの取組を行っており、特に「フィルタリングを使用している」(44.6%)、「子どものネット利用状況を把握」(34.2%)が多くなっています。

また約4分の1の保護者(26.6%)が「利用時間等のルールを決めている」と回答しており、前年度より4.4ポイント増、一昨年度より8.8%ポイントとなっています。しかしその一方で、「家庭のルールを決めている」ことに対して、子どもたちと保護者の認識のギャップが以下のようにあります。



◇「インターネットの利用についてルールを決めている」

- ・小学生：77.9% ⇔ 小学生の保護者：89.6% (その差 11.7ポイント)
- ・中学生：69.5% ⇔ 中学生の保護者：85.6% (その差 16.1ポイント)
- ・高校生：51.8% ⇔ 高校生の保護者：70.8% (その他 19.0ポイント)

※何のために必要なのか、どのように使うのかなど、お子様と話し合い、適切なインターネットの利用を促しましょう。